

進学部門アンケート報告

令和2年度神奈川県立高等学校進路指導協議会
調査研究部会

新羽高校 能美 悟

本調査について

4年制大学について

短期大学について

指定校推薦について

総合型選抜入試(AO入試)について

大学入学者共通テストについて

専門学校について

校内進路ガイダンスについて

日頃感じている問題点

本調査で取り上げて欲しいテーマ

本調査について

4 本調査について

調査の目的

本アンケート調査は今年度で31回目を数える。
これまで現場の生の声を進路指導に生かしたいと行ってきた。
今年度は神奈川県内の県立高校140校から回答を得て、
分析を行った。

原則として昨年までの調査項目を踏襲し、経年比較することにより、
進路データの変化を見つけ、その分析を行った。

5 本調査について

調査の方法

例年は、本協議会の地区幹事からなる調査研究部会の調査員が調査を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための、緊急事態宣言が発令され、臨時休校などもあったために、調査員の会合を開くことができなかった。

そのため、本協議会の常任理事がWEBアンケートで調査を行った。

6 本調査について

アンケート回答数

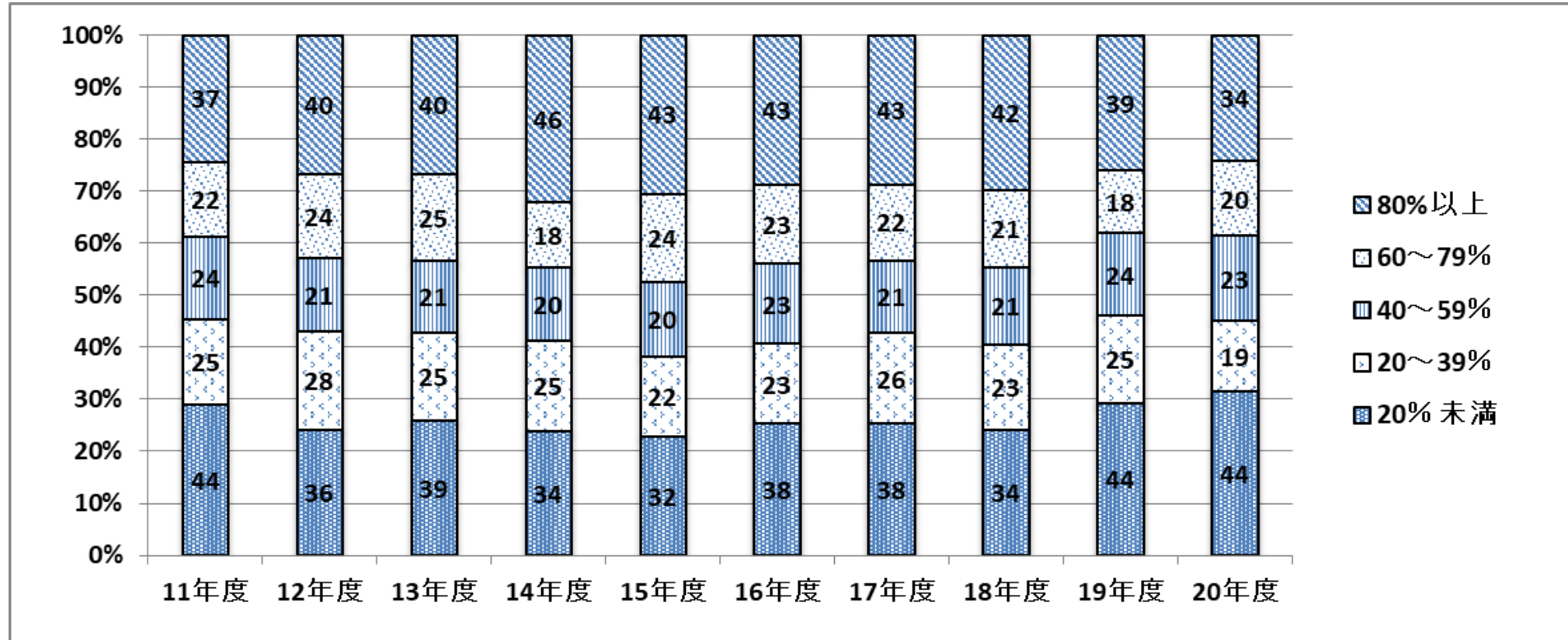
(単位)校

| 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 152 | 150 | 150 | 143 | 141 | 150 | 150 | 141 | 150 | 140 |

昨年度、教育現場では、新型コロナウイルス感染拡大による臨時休業、大学入試改革初年度の対応など、例年経験しない突発的な業務で、非常に多忙な状況でしたが、多くの学校がアンケートにご協力していただき、誠にありがとうございました。

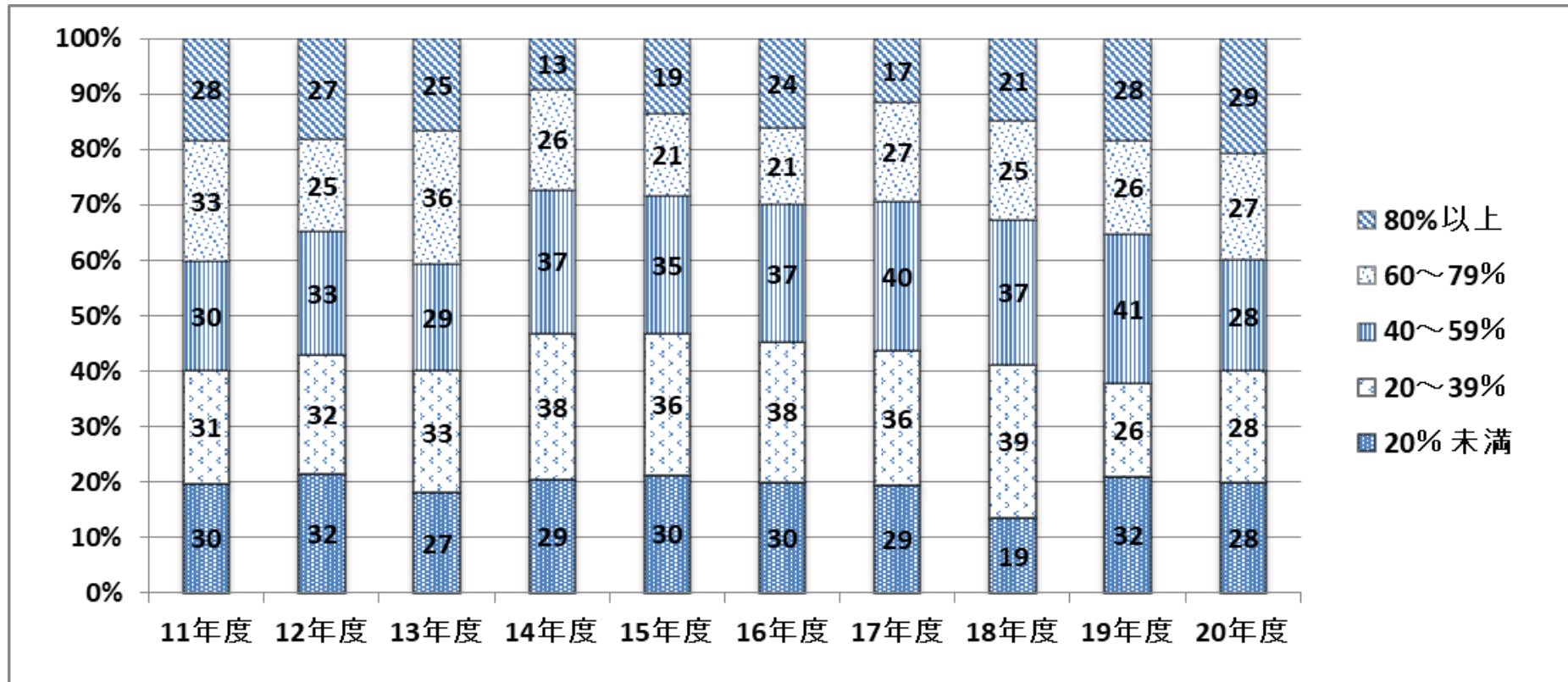
四年制大学について

四年制大学進学希望者の割合



2017年度から、80%以上の生徒が希望する高校が減ってきている。
 それに伴って、20%未満の生徒が希望する高校が増えてきている。
 私立大学入学定員の厳格化の影響で、大学進学を希望する層が専門学校進学に切り替えてきている
 のではないか？

四年制大学進学希望者のうち、学校推薦型(指定校・公募)入試制度利用者の割合

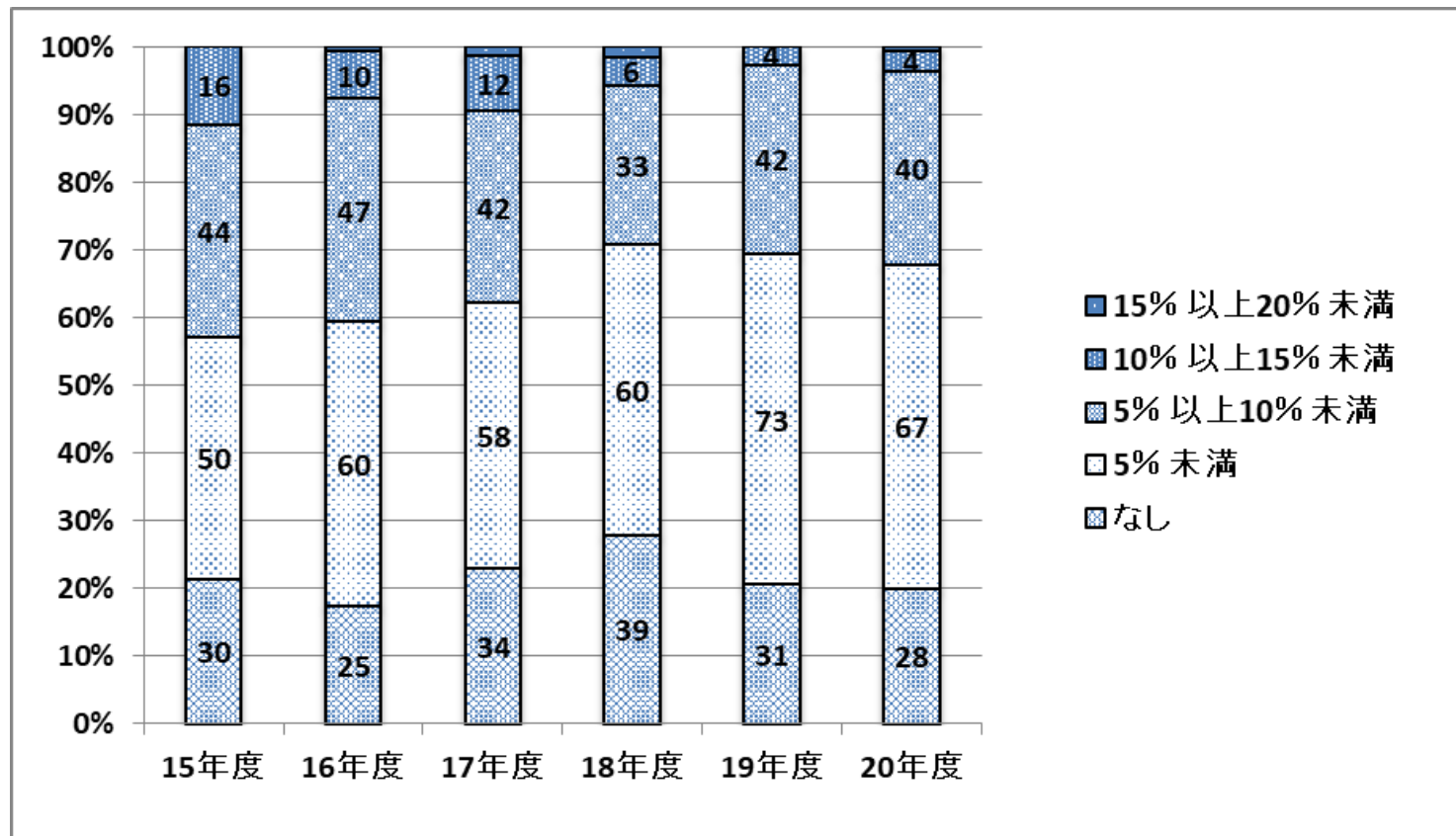


2018年度から、学校推薦型選抜を利用する生徒が80%以上の高校が増えてきている。年内に進路決定を希望する生徒が増えてきていると言える。

短期大学について

11 短期大学について

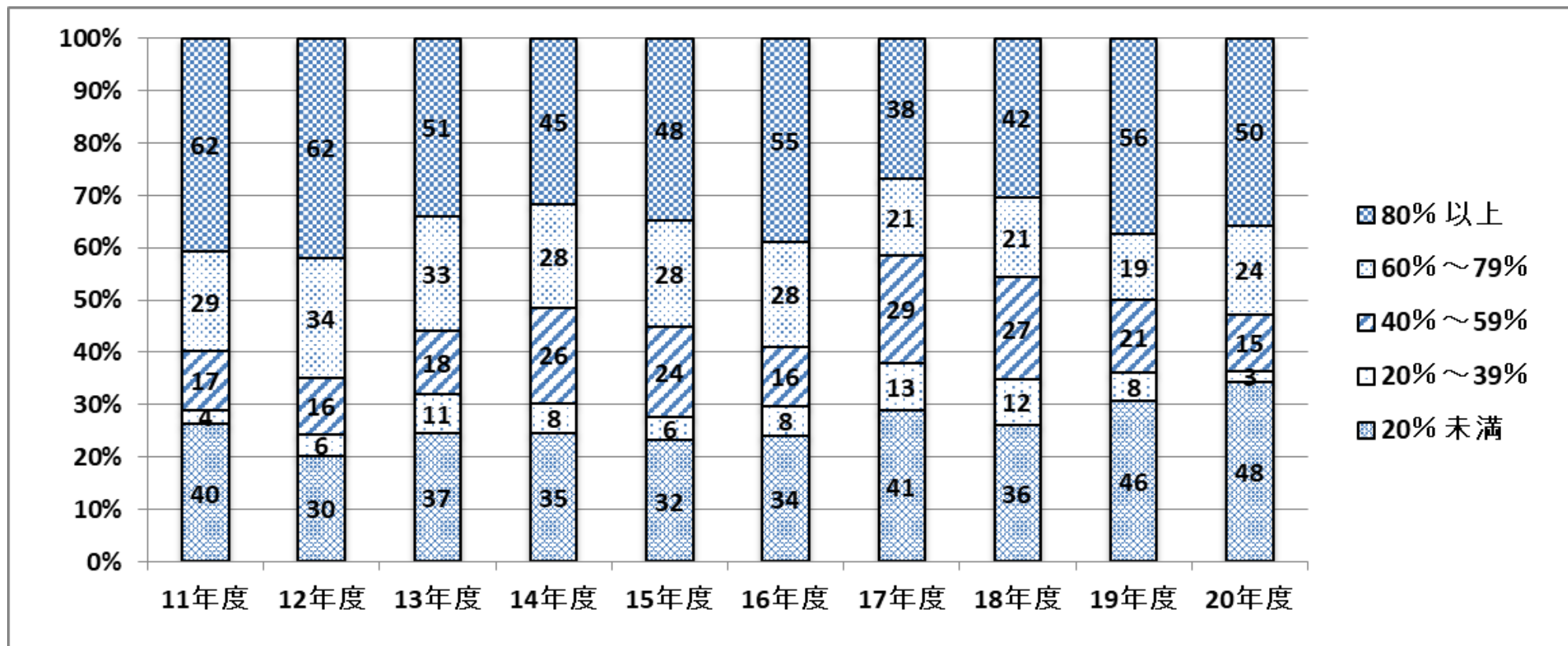
短期大学進学希望者の割合



10%以上15%未満の生徒が希望する高校が減少してきており、それに伴って、5%未満の生徒が希望する高校が増えてきている。
各高校において、短期大学を希望する生徒の割合が減ってきていると言える。

12 短期大学について

短期大学進学希望者のうち、学校推薦型(指定校・公募)入試制度利用者の割合

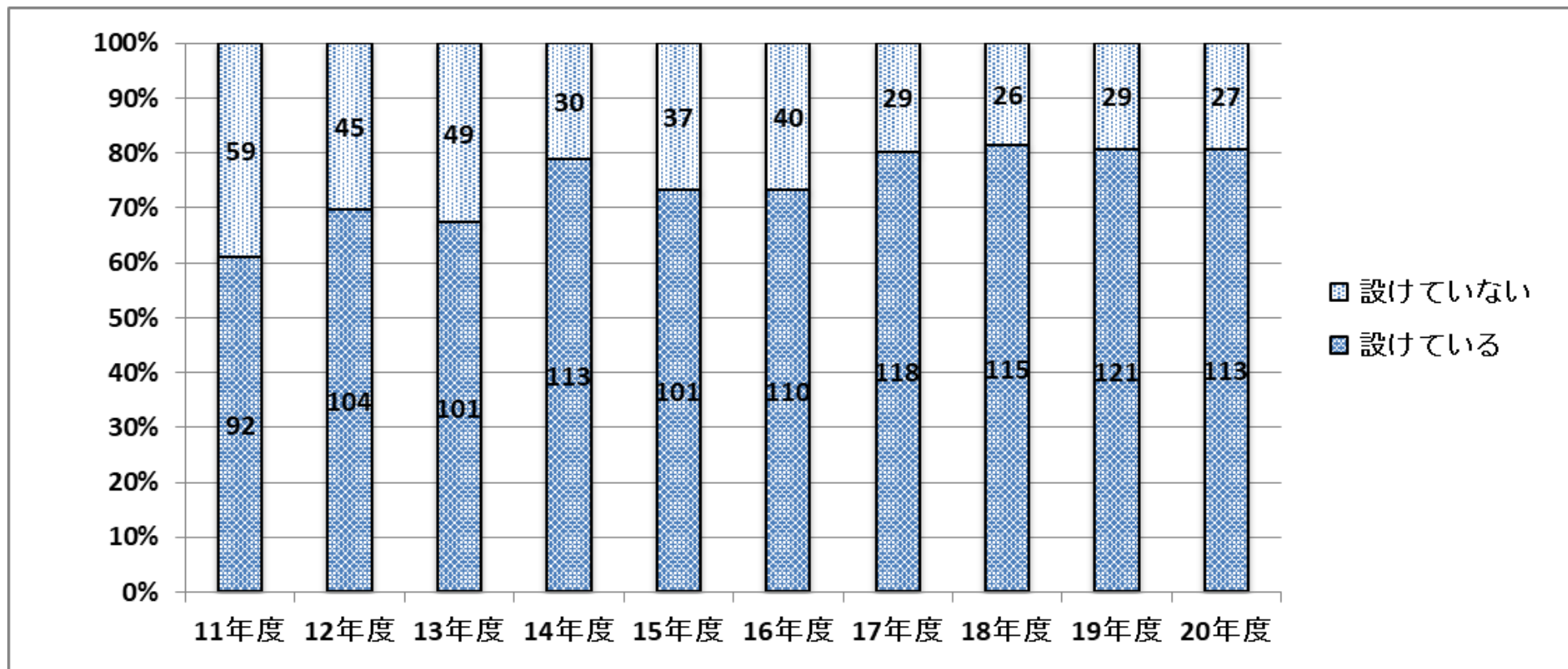


2017年度から20%未満の生徒が利用する高校が増加してきており、それに伴って、40%~59%の生徒が利用する高校が減少してきている。また、80%以上の生徒が利用する高校が増えてきている。
私立大学入学定員厳格化が開始されてから、短期大学へ学校推薦型選抜を利用する生徒が増加する高校と減少する高校が増えてきており、二極化しているのではないかと？

指定校推薦について

14 指定校推薦について

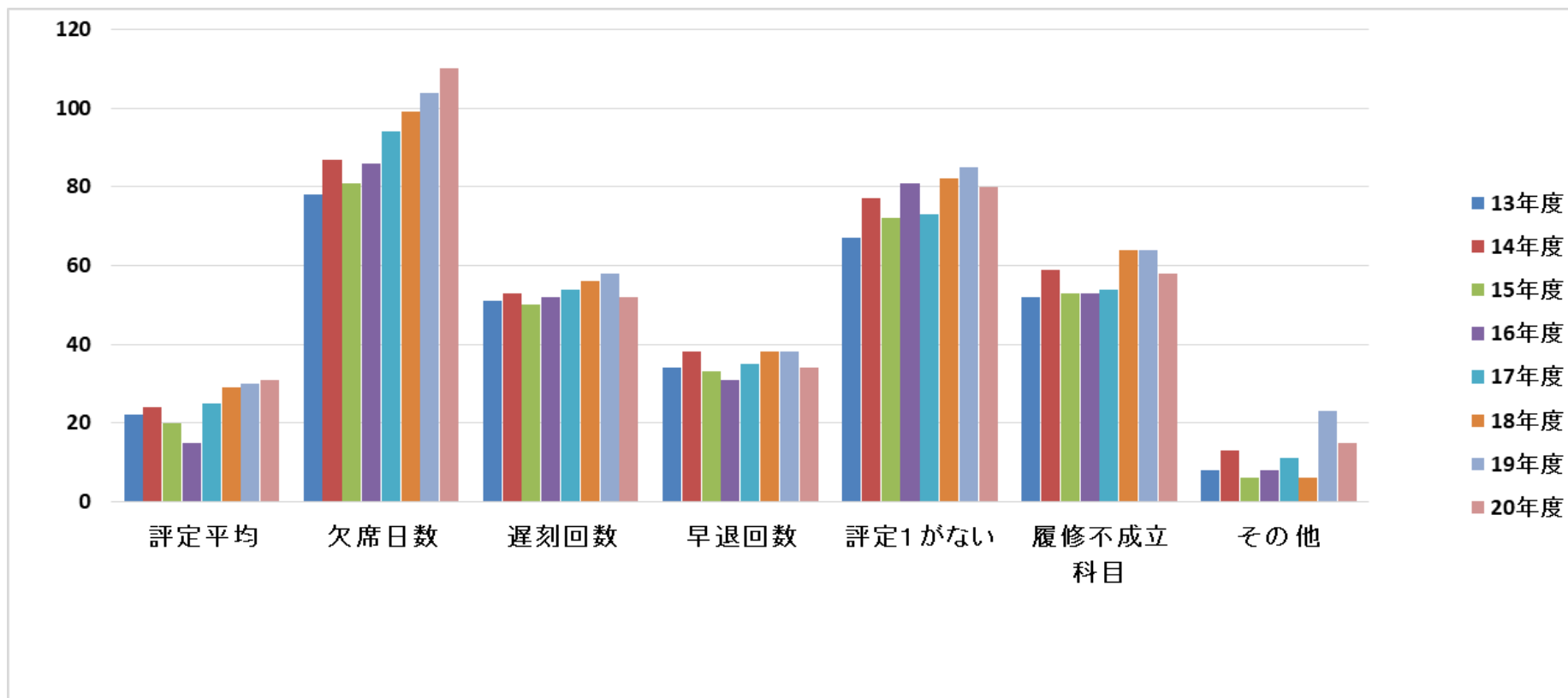
指定校推薦について、大学側からの基準以外に校内基準を設けていますか。



2017年度から、校内基準を設ける高校が増えてきており、現在は、80%以上の高校が校内基準を設けている。

15 指定校推薦について

大学側からの基準以外に設けている校内基準



2017年度から、校内基準を設ける高校が増えてきているが、その項目としては、欠席日数、遅刻回数、評定1がない、履修不成立、その他が増えてきている。

16 指定校推薦について

大学側からの基準以外に設けている校内基準

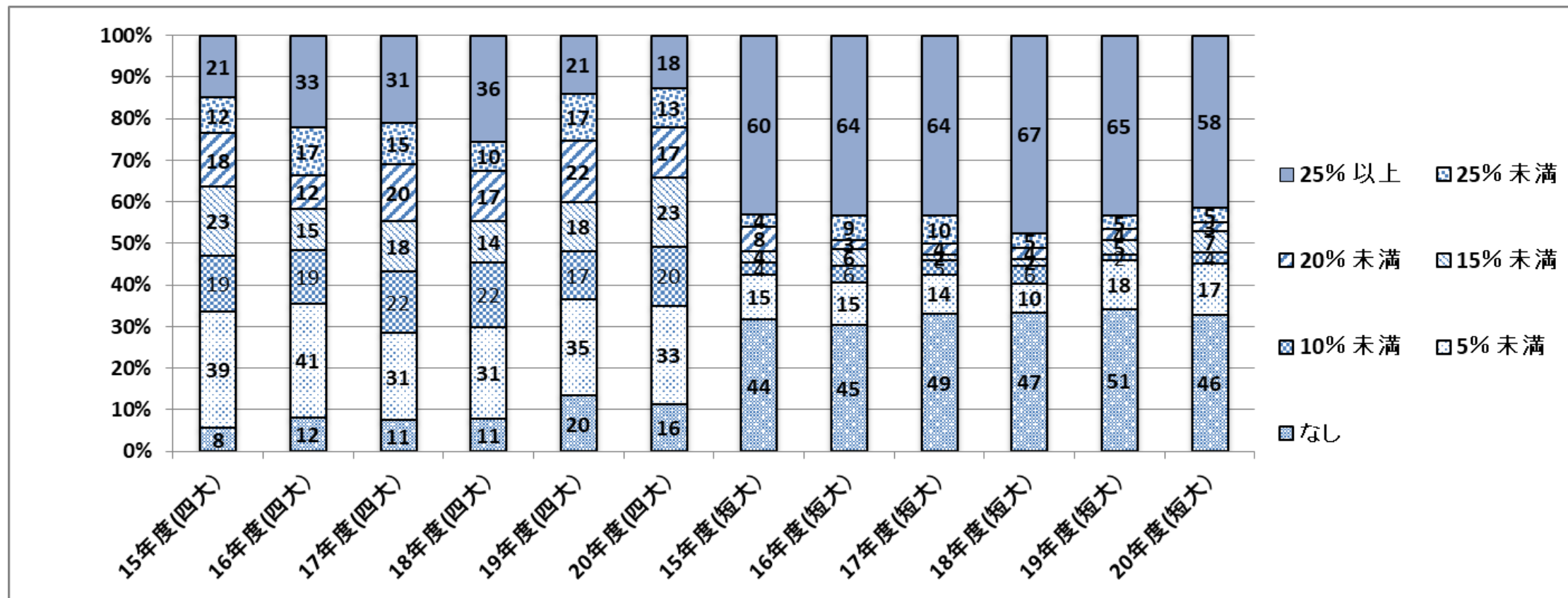
＜その他の具体例＞

- 授業料等諸会費の納入
- 校内での推薦説明会に参加する
- 校内での説明会に保護者同伴で出席し、その内容を理解していること
- 事前に学校見学をしていること
- 3年次に特別指導を受けていないこと
- テストのない科目で面接指導の必要出席数の1/2，
レポート課題の1/2を提出をしている。
- 外部テストの取り組み状況 など。

総合型選抜入試について

18 総合型選抜入試(AO入試)について

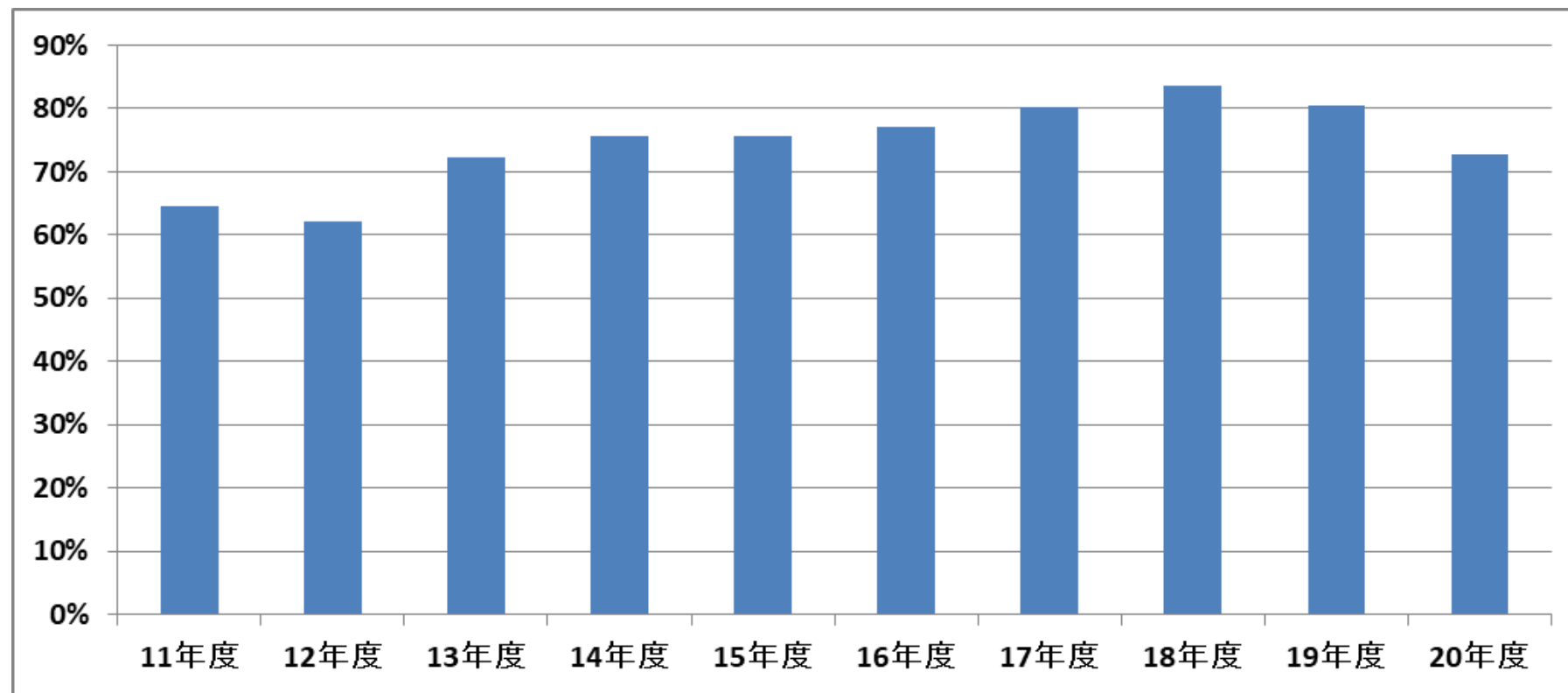
令和2年3月(昨年度)卒業制の四年制大学／短期大学進学者のうち、AO入試を利用して入学した割合



四年制大学進学では、AOを使用した生徒が0%の高校が徐々に増えており、1%～15%未満の生徒の高校が減少し、それに伴って、15%以上20%未満の高校は増加してきている。25%以上の高校は減少してきている。短期大学進学では変化はない。

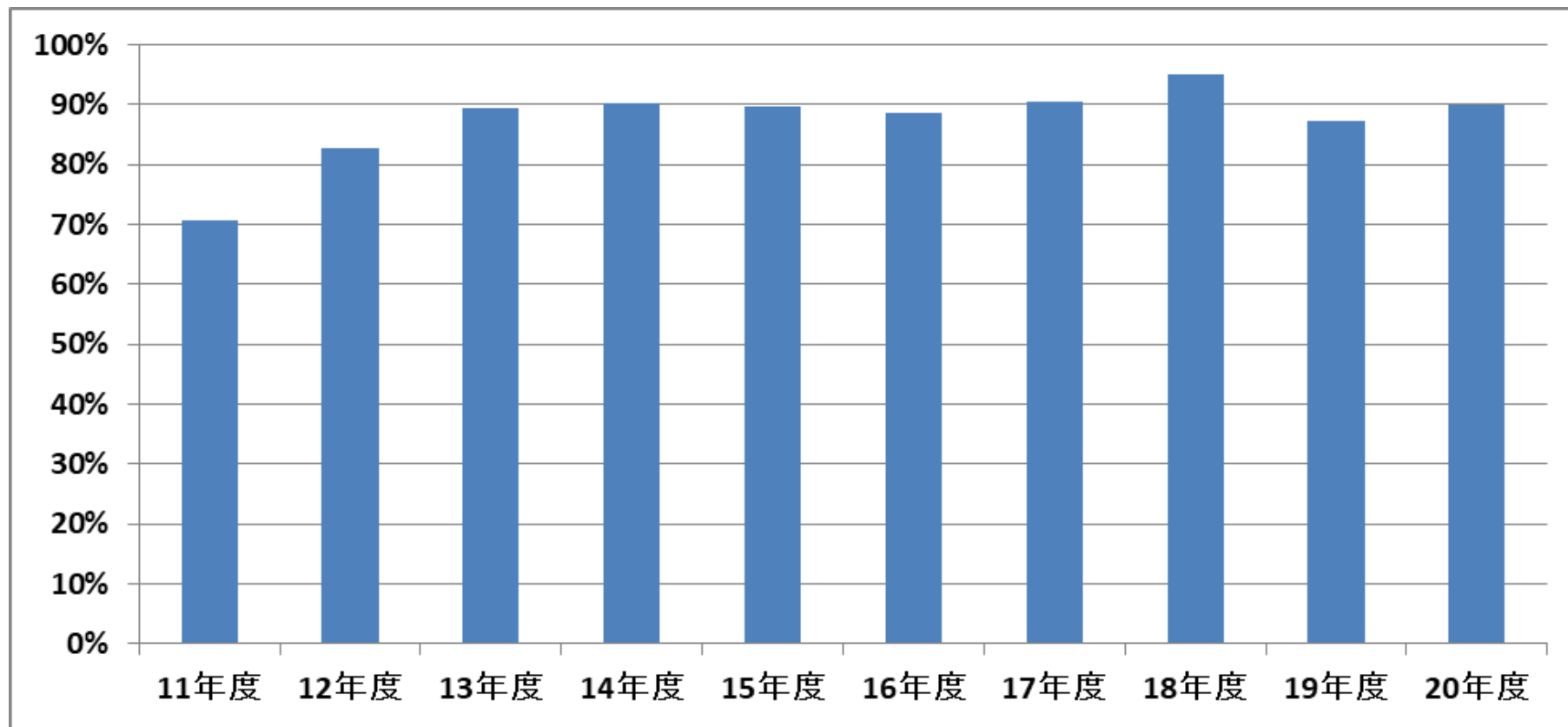
19 総合型選抜入試(AO入試)について

総合型選抜入試に関する指導について、生徒に「出願の届け出」をさせて、組織的に把握している学校の割合。



今年度は、総合型選抜入試の「出願の届け出」をさせる高校数が減少している。2年前からの比較では、10%減少している。コロナ禍で多忙を極めた影響か？

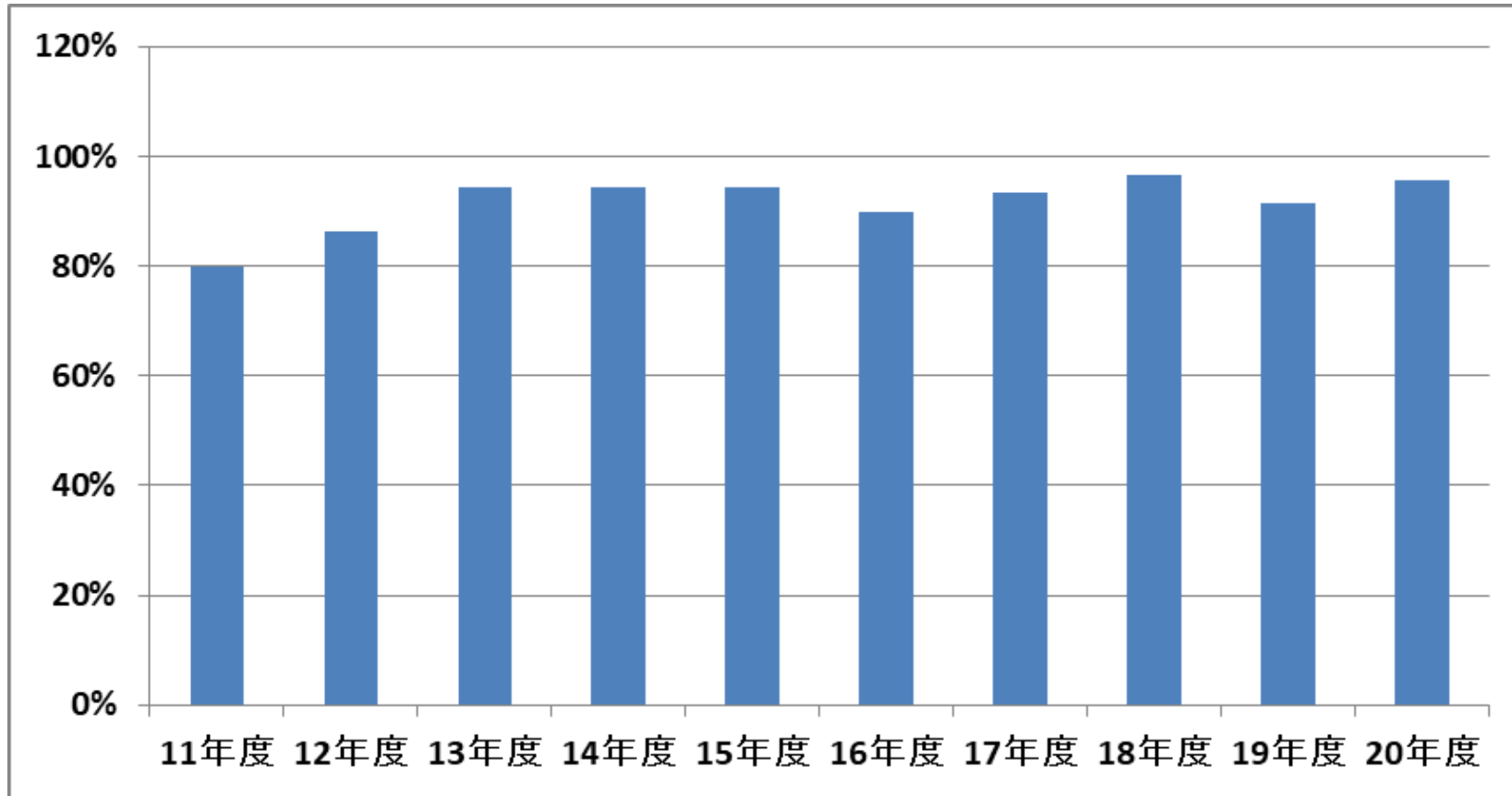
総合型選抜入試に関する指導について、「作文・小論文指導」をしている学校の割合。



90%前後で推移しており、総合型選抜入試でも、手厚く指導されている高校が多いことが分かる。

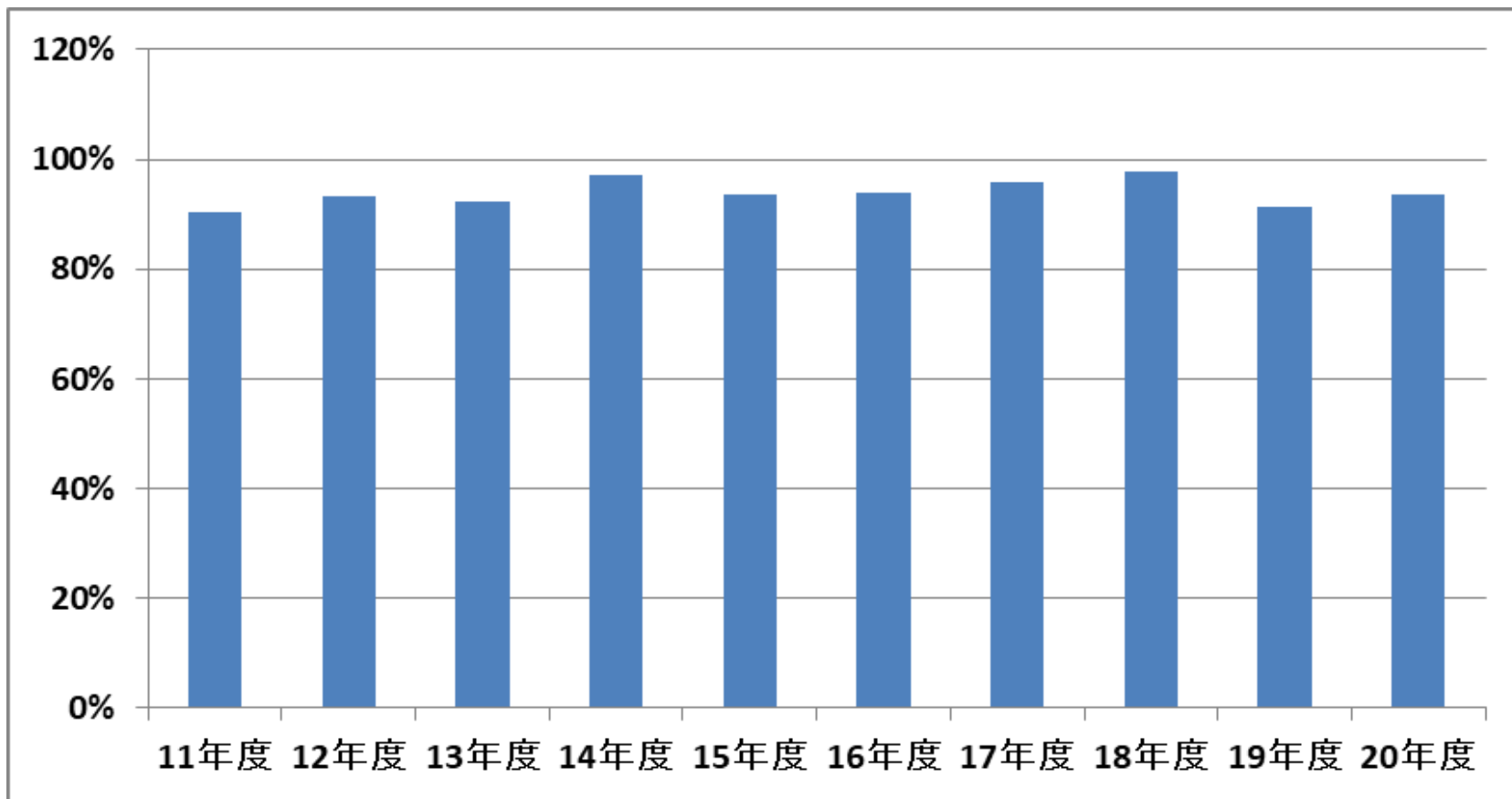
21 総合型選抜入試(AO入試)について

総合型選抜入試に関する指導について、「面接指導」をしている学校の割合。



90%以上で推移しており、総合型選抜入試でも、手厚く指導されている高校が多いことが分かる。

総合型選抜入試に関する指導について、生徒に「受験報告書の提出」をさせている学校の割合。



90%以上で推移しており、総合型選抜入試でも、「受験報告書の提出」までが受験という指導がなされていることが伺われる。

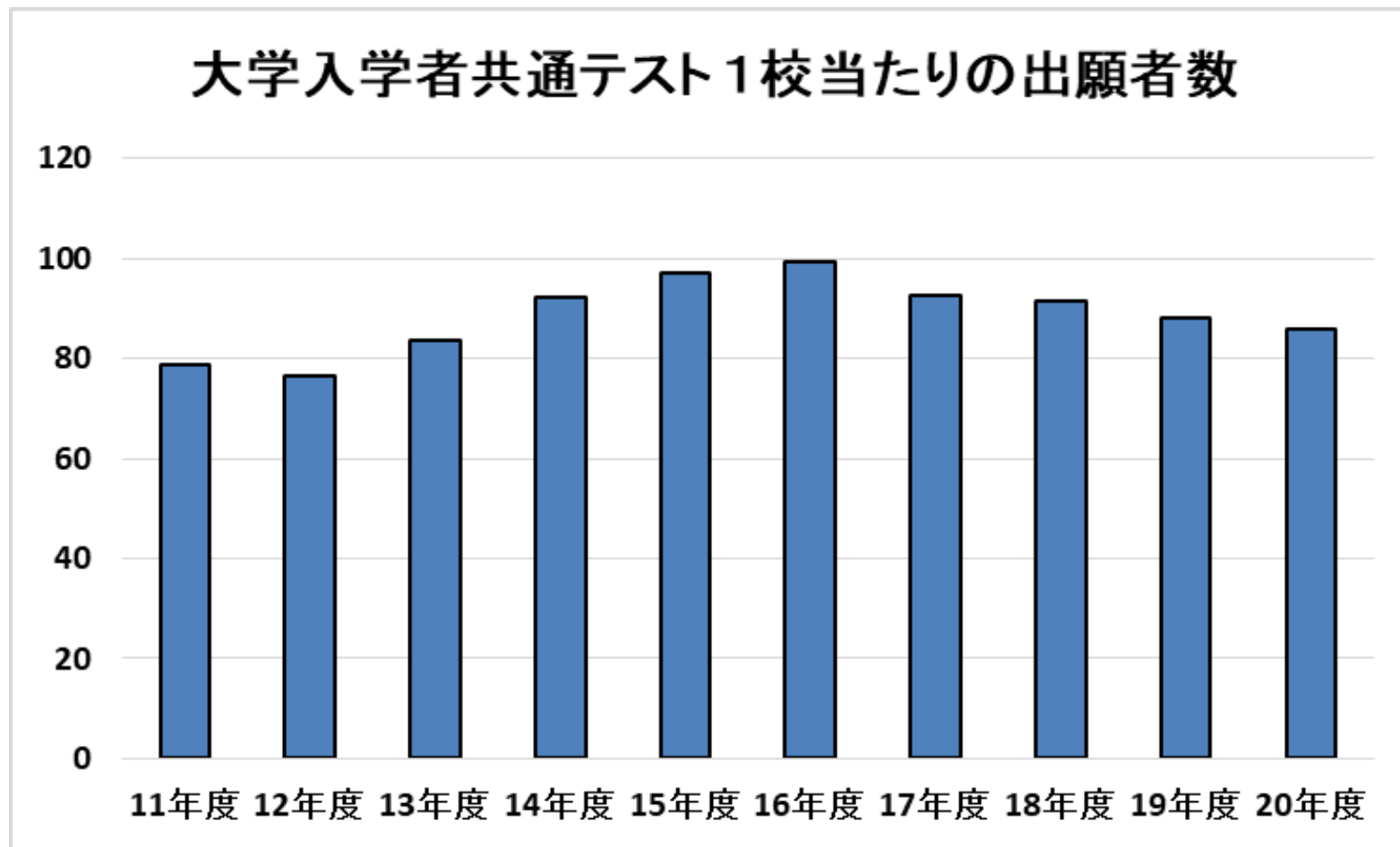
大学入学者共通テストについて

24 大学入学者共通テスト(センター試験)について

大学入学者共通テストの出願者数

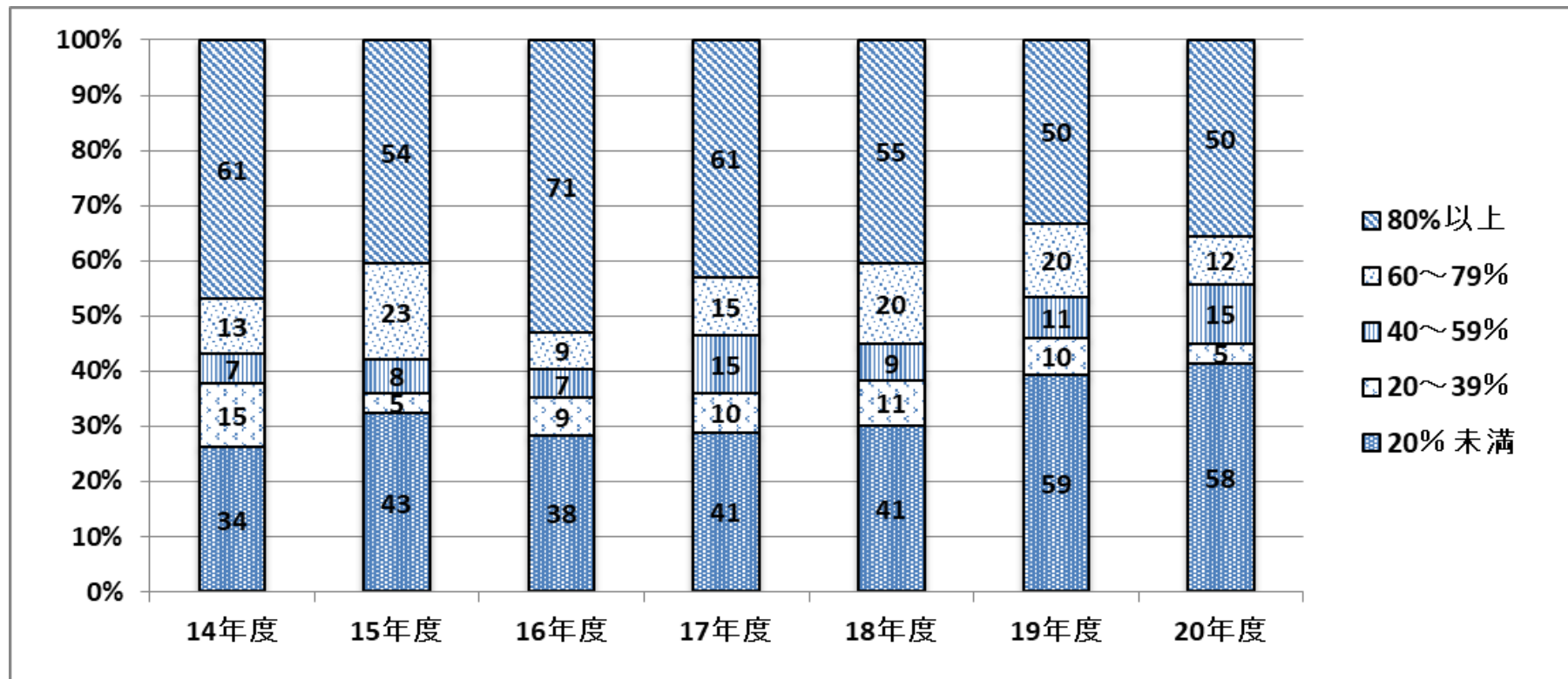
| 年度 | 11年度 | 12年度 | 13年度 | 14年度 | 15年度 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 回答校数 | 152 | 150 | 150 | 143 | 141 | 150 | 150 | 141 | 150 | 140 |
| 出願人数 | 11,979 | 11,469 | 12,556 | 13,183 | 13,679 | 14,912 | 13,913 | 12,926 | 13,227 | 12,036 |
| 1校当たり人数 | 79 | 76 | 84 | 92 | 97 | 99 | 93 | 92 | 88 | 86 |

本アンケートへの回答高校数の増減によって、共通テスト出願人数の増減が影響されるので、1校当たりの出願人数を算出した。



2016年度をピークに、1校当たりの共通テストへの出願者数が減少してきているが、私立大学入学定員の厳格化の影響なのか？少子化に伴う各高校の規模の縮小が原因なのか？は今後の調査で探っていきたい。

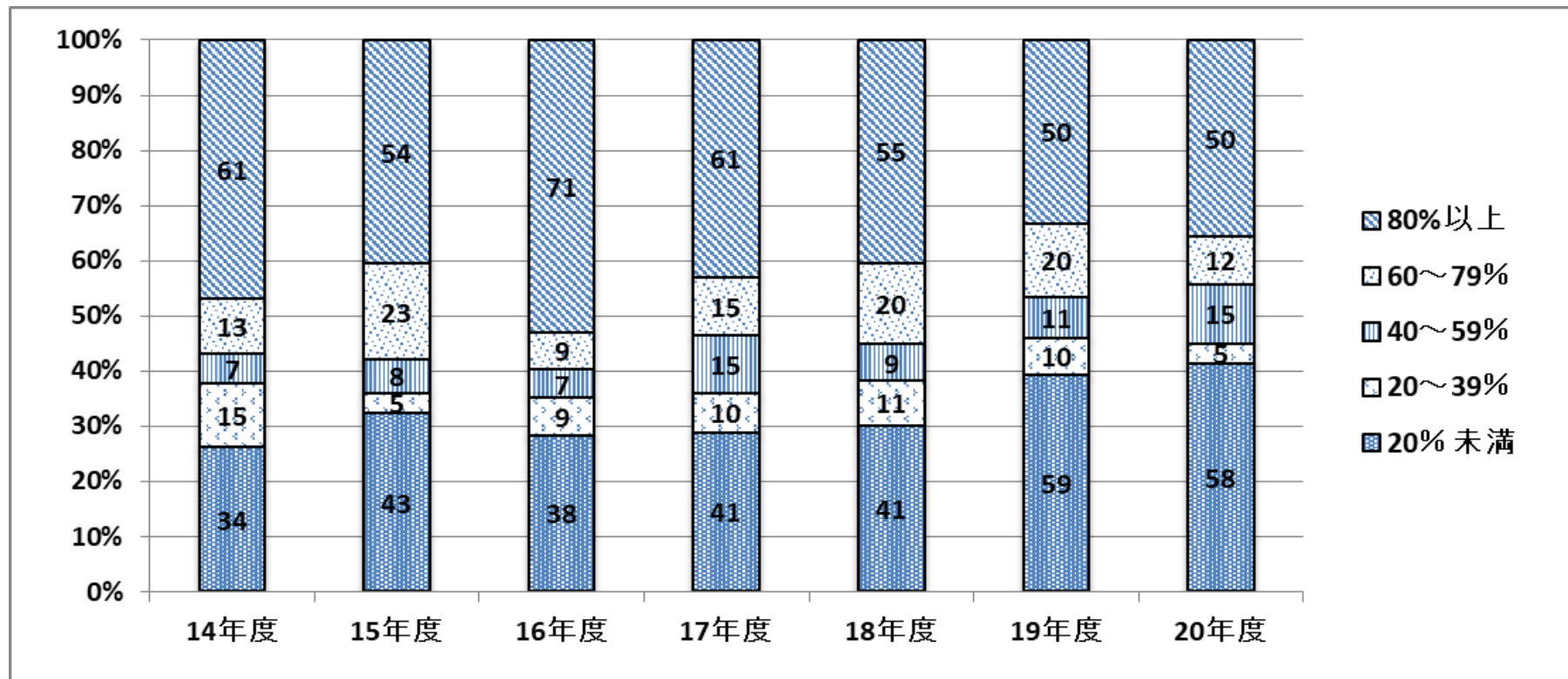
卒業予定者における大学入学者共通テストの出願者の割合



2017年度から、出願者割合が20%未満の高校が増えてきている。それに伴って、80%以上の高校が減少してきている。
共通テストへ出願する生徒の割合は、明らかに減少してきている。

大学入学者共通テスト(センター試験)について

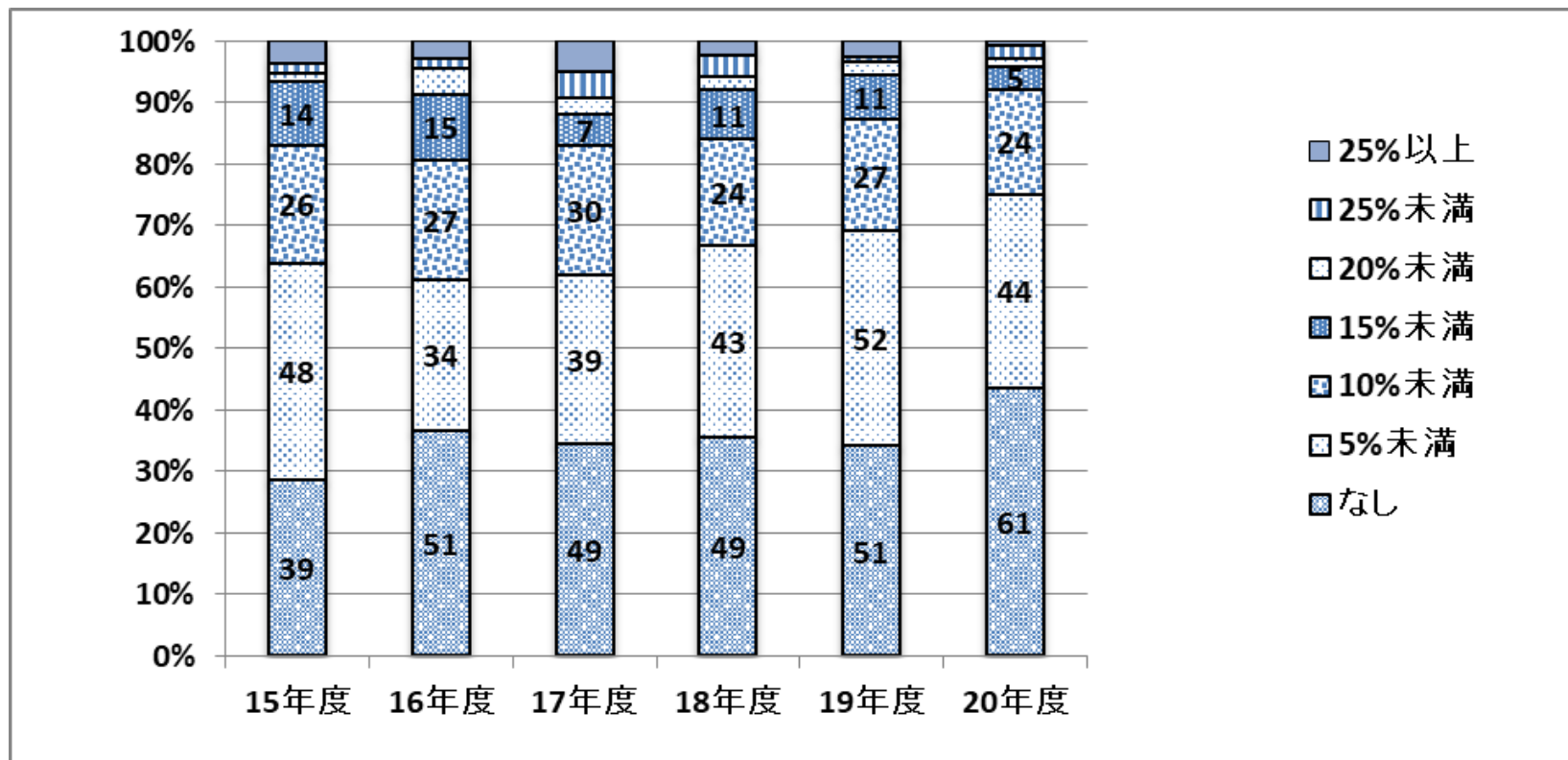
令和2年度(昨年度)入試について、
センター出願者数におけるセンター試験受験者の割合



2017年度から、受験者割合が20%未満の高校が増えてきている。それに伴って、80%以上の高校が減少してきている。
出願したのに受験しない生徒の割合は、増加してきている。

大学入学者共通テスト(センター試験)について

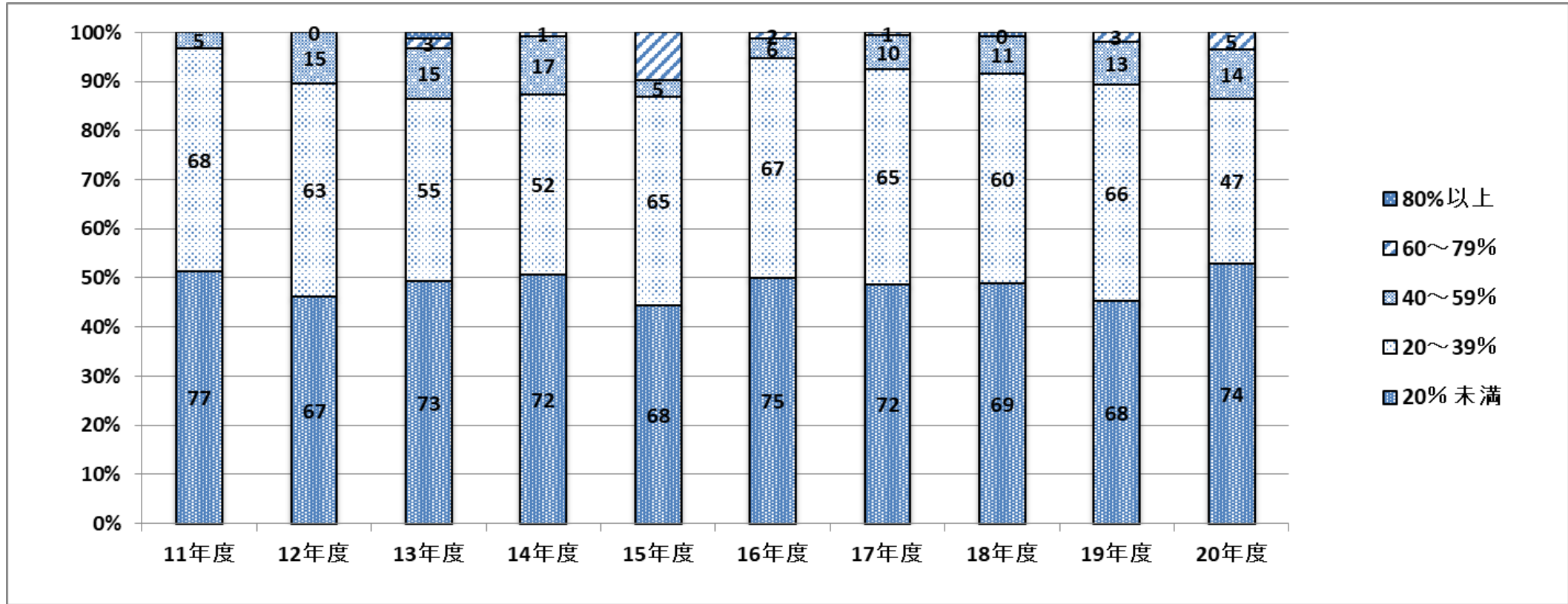
令和2年度(昨年度)入試について、
私立大学入学者のうち、センター試験利用入学者の割合



私立大学入試において、センター試験を利用する生徒が減少してきている。

専門学校について

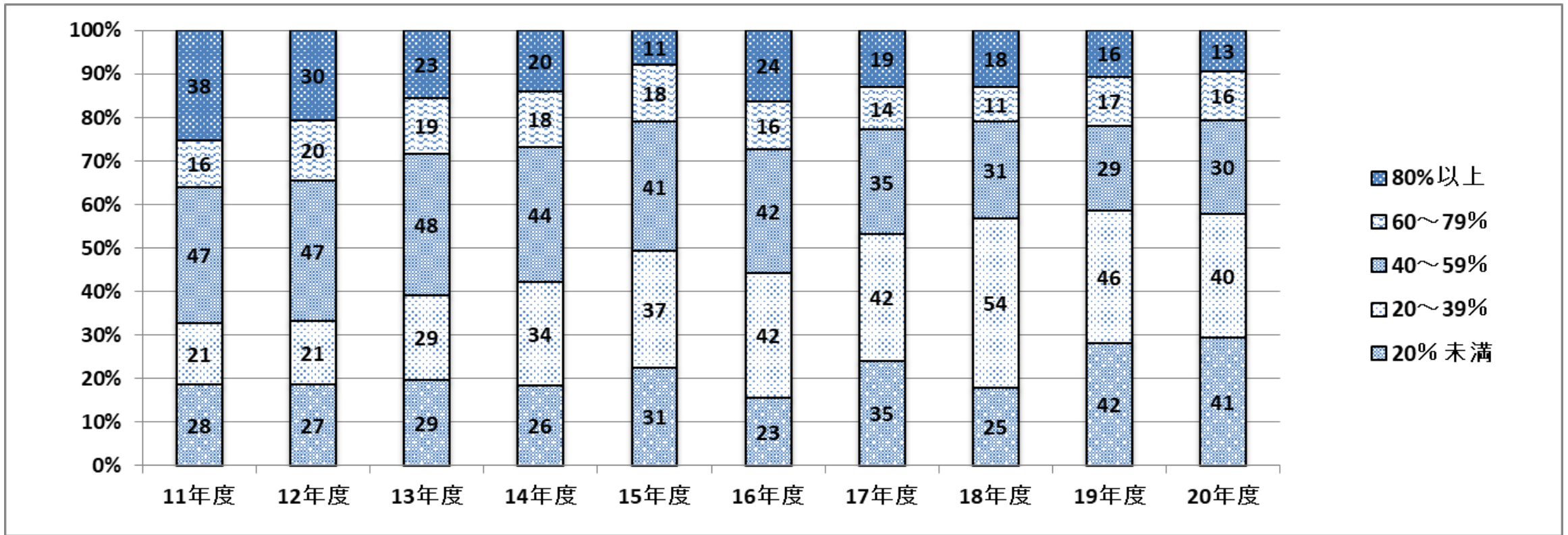
専門学校進学希望者の割合



2017年度から、20%~39%の割合の高校が減少し、それに伴い、40%~59%の割合の高校が増えてきている。

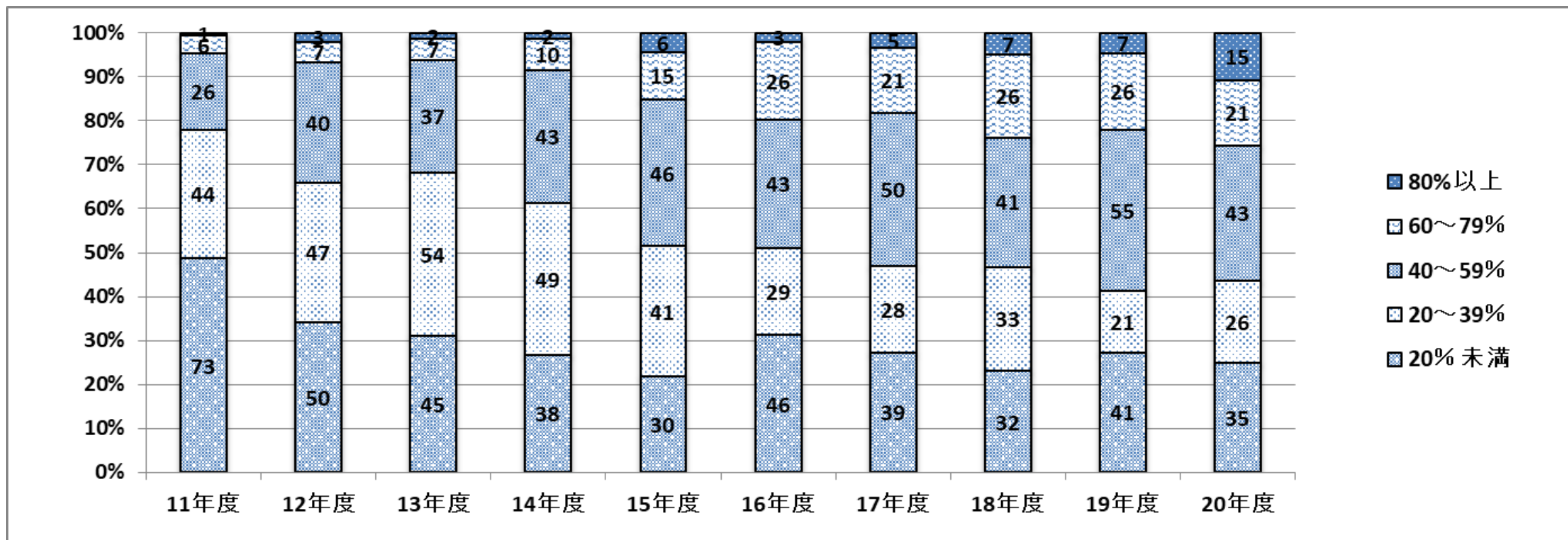
31 専門学校について

専門学校進学希望者のうち、推薦(指定校・公募制)入試制度利用者の割合



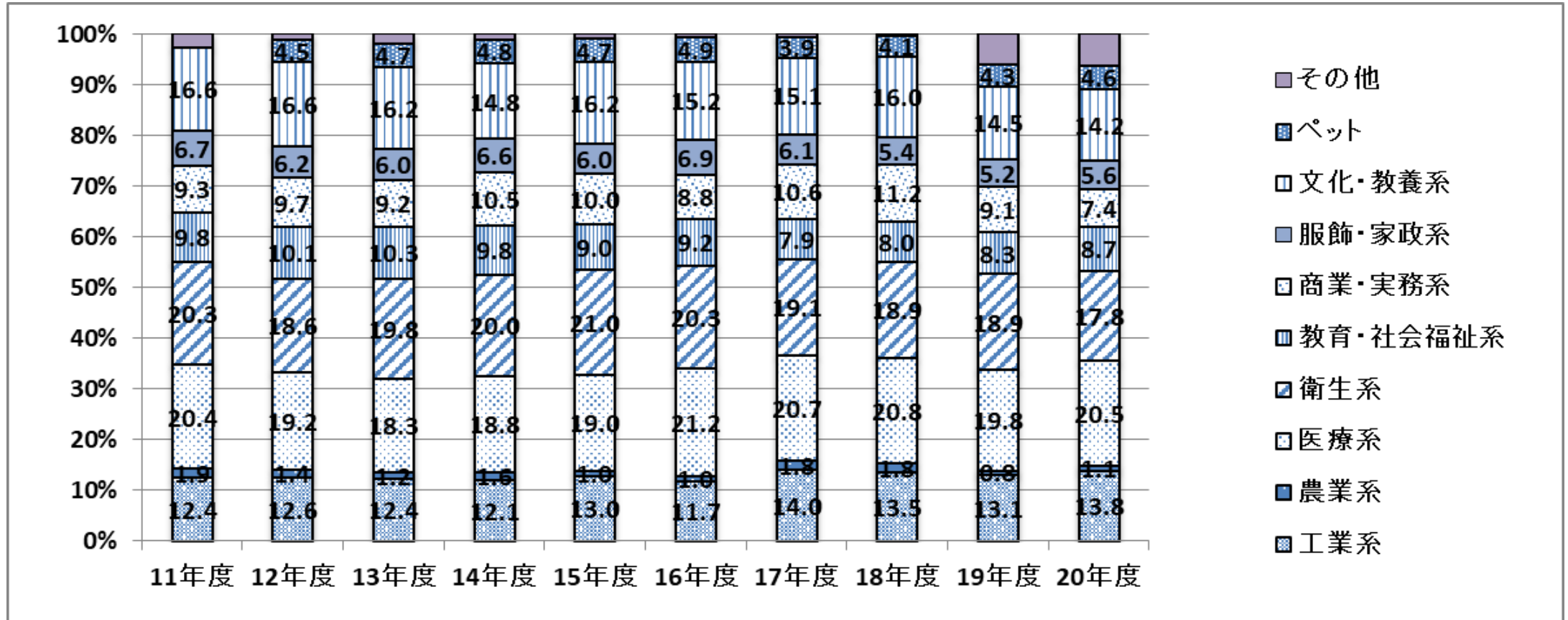
20%未満、20%~39%の割合の高校が増えてきている。それに伴い、40%以上の割合の高校が減少してきている。

専門学校進学希望者のうち、AO入試制度利用者の割合



30%未満の割合の高校が減少してきており、それに伴って、40%以上の割合の高校が増加してきている。特に80%以上の割合の高校の増加が目立つ。指定校推薦よりも早い時期に行われるAO入試で、進路先を決めてしまいたいという生徒の心理が現れている。

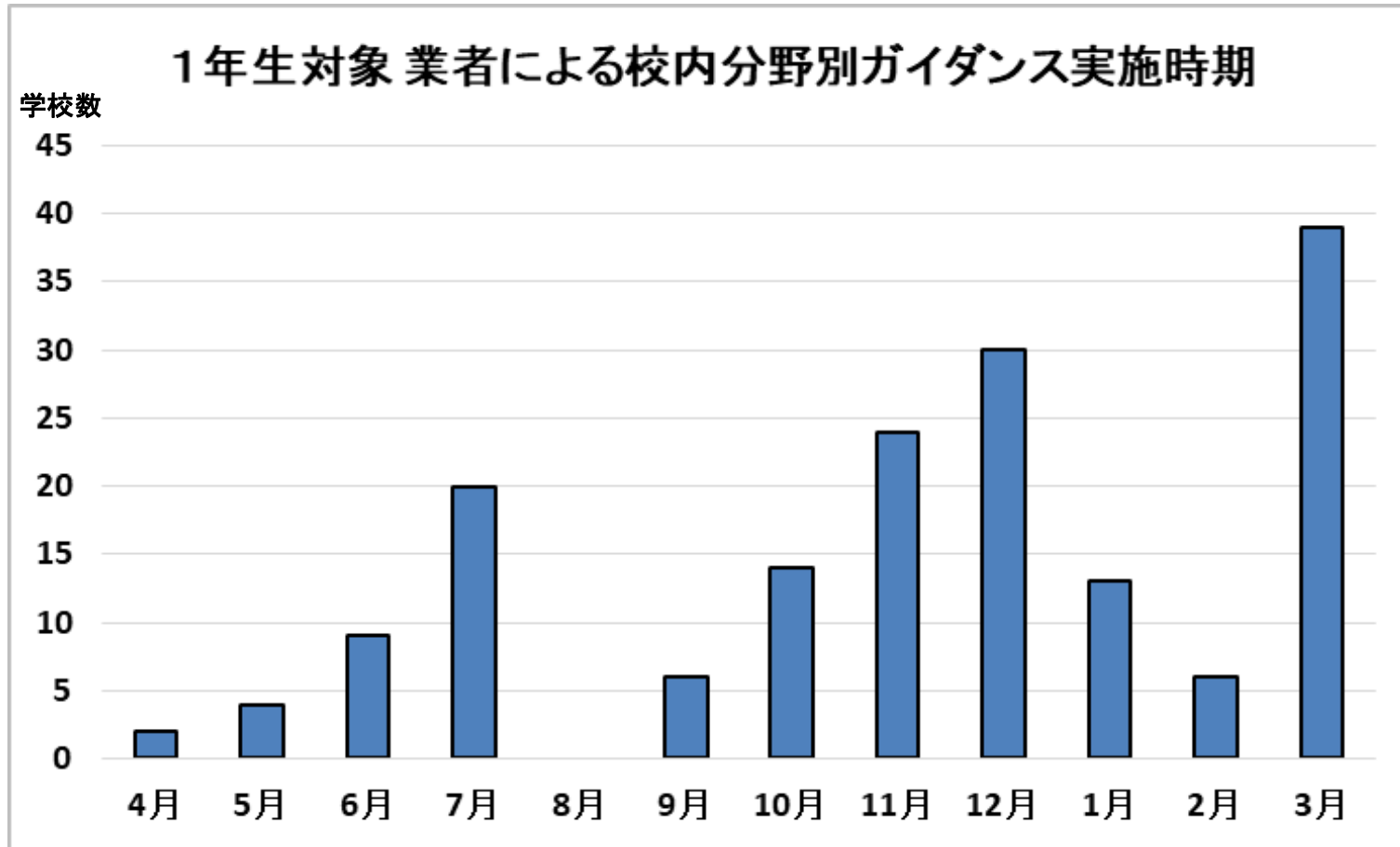
専門学校進学希望者のうち、各分野の希望者数



衛生系、商業・実務系、文化・教養系が微減少し、「その他」の項目が増加してきている。その他の内訳は、公務員が多い。コロナ禍で2020年の有効求人倍率は、45年ぶりの下げ幅となり、経済が冷え込んでいることを背景に、安定した公務員を希望する生徒が増えてきている。

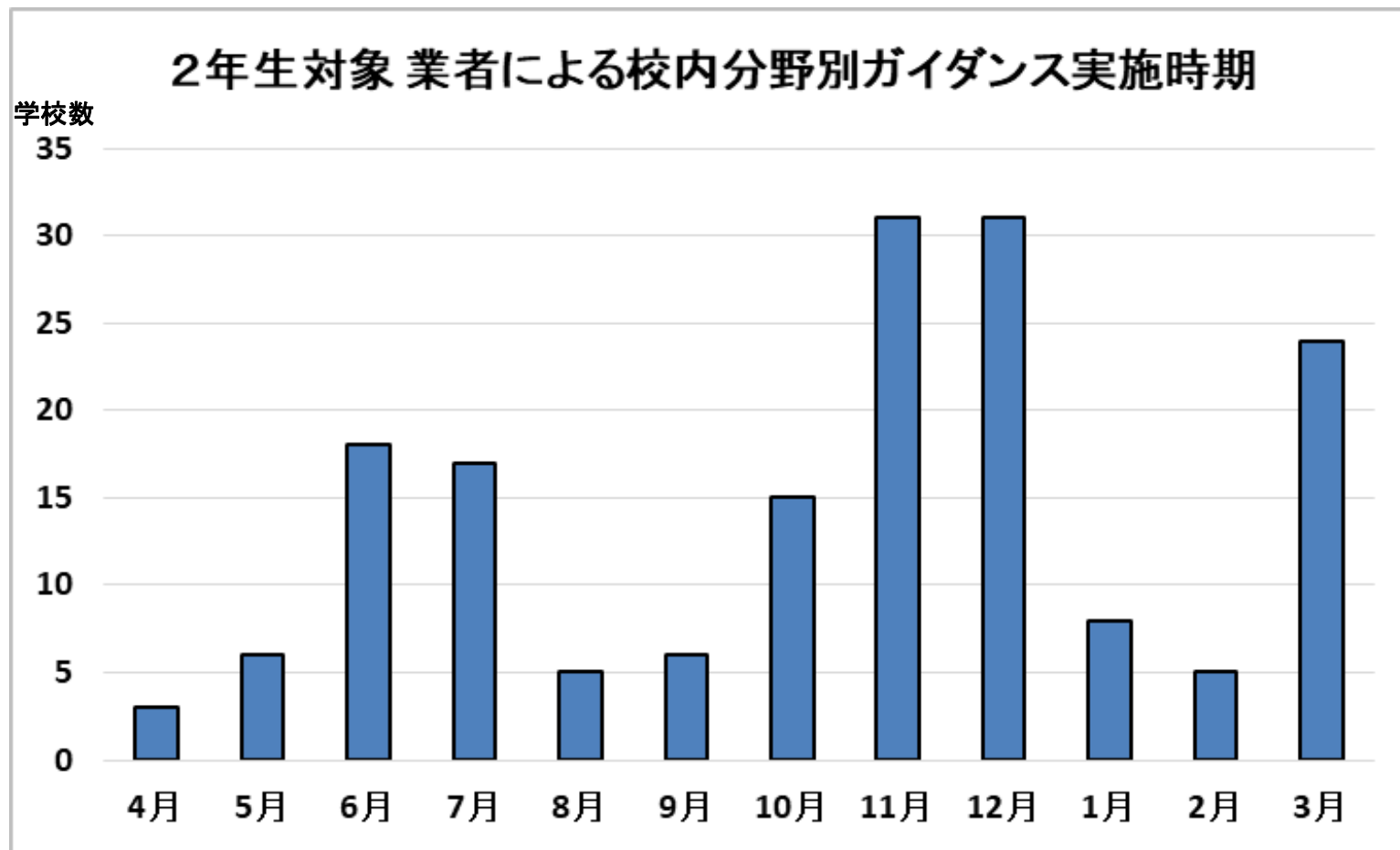
校内進路ガイダンスについて

1年次生に対して、業者による分野別進路説明会を実施している時期



長期休業前の7月・12月・3月にガイダンスを実施している高校が多い。

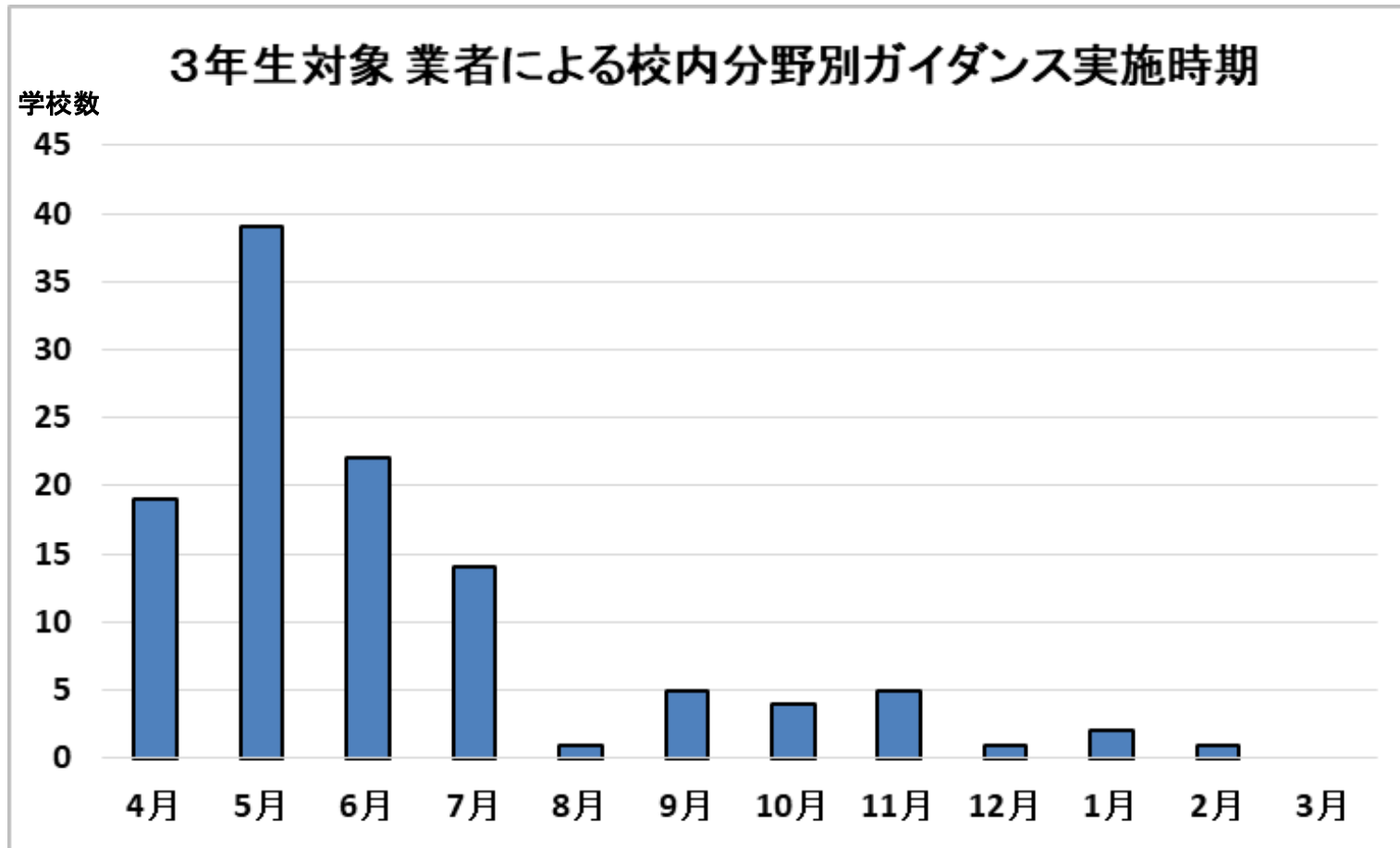
2年次生に対して、業者による分野別進路説明会を実施している時期



長期休業前の7月・11月～12月・3月にガイダンスを実施している高校が多い。
選択科目を決める時期である6月もガイダンスを実施している高校が多い。

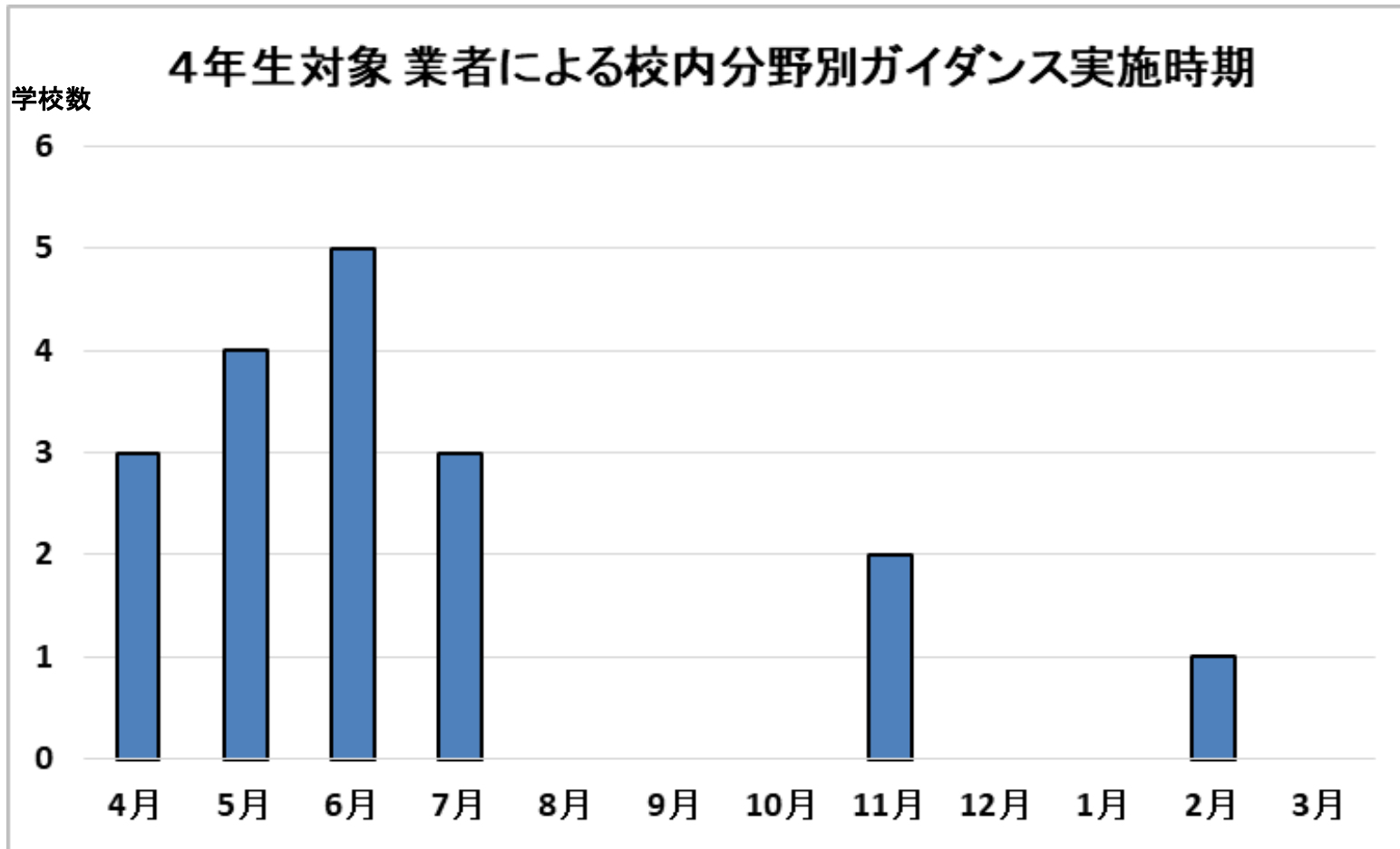
37 校内進路ガイダンスについて

3年次生に対して、業者による分野別進路説明会を実施している時期



6月から総合型選抜が始まるので、5月までにガイダンスを実施する高校が多い。

4年次生に対して、業者による分野別進路説明会を実施している時期



3年生と同様、6月から総合型選抜が始まるので、6月までにガイダンスを実施する高校が多い。

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<進学関係>

- 大学模擬授業、大学出張授業
- 模擬試験分析会
- 進路先の現状・これからの進路の考え方等
- 前年度入試実績・分析会
- 分野別・大学別・学部学科説明会
(医学医学科・看護学ガイダンス、美術系進学ガイダンス、専門学校選び方 など)
- 受験勉強の仕方
- 共通テスト説明会、入試説明会、推薦入試説明会、模擬面接指導、志望理由書
- 面接練習週間を設定し、3年生全員を対象とした面接指導
- 0学期講演(2・3年生へのOB・OGの講演・学習会)、3年ゼロ学期始業式
- 東大、東工大の教授からの大学案内、講演会

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

＜上級学校訪問, 校外学習＞

- 高大連携大学のキャリア教育講座
- 上級学校見学会
- 大学模擬授業
- キャンパスツアー、進路バスツアー
- 校外研修
- エコプロ参加
- カタリバ参加
- 職業訓練校の校外学習
- 高校独自インターンシップ

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<就職関係>

- 年間を通して就職ガイダンス(求人票の見方の説明など)
- ハローワークによる就職ガイダンス
(面接指導、就職試験対策、就職内定者指導)
- ビジネスコミュニケーションセミナー
- 1日就業体験
- 公務員ガイダンス
- 地元企業を招いての企業説明会
- 企業の方による職業紹介、仕事の出前授業
- 漁業就職希望者へのガイダンス、内航船員希望者へのガイダンス

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<職員対象>

- 教員への進路研修会
- 模擬試験分析会
- 受験報告会

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<保護者対象>

- 指定校推薦説明会 …被推薦者になった後で辞退できないことの説明
- 保護者対象進路ガイダンス
- 教育ローン・予約奨学金説明会
- ファイナンシャルプランナーによるお金講座

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

＜卒業生を招いてのガイダンス＞

- 卒業生によるキャリアガイダンス、分野別職業講話
- 教育実習生講話
- 卒業する3年生による合格者講話、ランチミーティング

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<外部講師を招いてのガイダンス>

- 1年次「産業社会と人間」において社会人講話
- Rebitによる出張授業
- 大学生・専門学校生と語る会
- 外部講師による社会人講和、進路劇
- 企業の方を招いての進路講話
- ハローワークによる就職ガイダンス

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<職業人インタビュー>

- 職業人を複数人招いて、多展開で職業人インタビュー
- 市町村産業振興課後援の地元職業人インタビュー
- 2、3年次「課題研究」において、上級学校や地域の方への体験授業や取材による調査・研究

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<その他>

- 進路と科目選択ガイダンス
- 1年生対象「知の探訪」
- 進路資料室ミニガイダンス
- 放課後進路セミナー
- 総合的な探究の時間で、「学部・学科研究」をテーマとして探究活動を行う
- 2、3年次「課題研究」において、「上級学校や地域の方への体験授業や取材による調査・研究」

学校独自で実施している進路ガイダンス等の取組み

<コロナ禍の影響>

- 今年度は感染症対策の関係で大学説明会を校内で実施した。
- 就職ガイダンス、進学ガイダンスの動画を作成し、生徒向けに配信した。
- 今年度は学年集会等が実施できていない。

各高校が学校独自で、生徒の進路希望に応じて、様々なガイダンスを実施していることが伺えたが、今年度は、コロナ禍で集会自体が開けなかったという声も多かった。そのような状況下でも、集会や対面ガイダンスを避けて、リモートで開催するなど、工夫を凝らしてガイダンスを実施している高校もありました。

日頃感じている問題点

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<大学入試改革>

- 入試制度の変更に伴い、大学によって対応が異なっている。
- 入試が複雑で生徒・保護者・教員が理解しづらい。
- 入試方法等の変更が細かく、把握しにくい。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<コロナ禍の影響>

- 入試日程や選考方法についての変更が多く、把握と生徒への伝達に苦慮した。
- 実施通知の連絡が急遽届くなど現場はかなり苦慮した。
- コロナの影響により進路指導の予定を何度も変更した事。
- オンライン面接等、高校で確認しなければならない事項が増えている。
- オンライン面接に対応するための機器の準備が大変。
- 学校のWi-Fi環境が十分でないにも関わらず、大学のオンライン面接を高校の職員が整えなければならないのは、負担が大きすぎる。
- コロナ禍で家庭の経済状況が悪化し、進学を諦める生徒が増加した。
- 大学での講義がオンラインに切り替わり、学生の学習の遅れ、退学者が増加した。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<調査書の書式>

- 調査書の様式変更について、県からの通知が遅すぎる。
- 調査書の記載(特にe-portfolioにかかわる記載)が負担が大きい。
- 二期制における調査書の作成時期。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

＜大学・短大・専門学校の選抜方法の名称の違い／不統一な書式＞

- 学校推薦型選抜(指定校)の依頼文書のフォーマットを大学・短期大学・専門学校で統一してもらいたい。様式がバラバラで、推薦要件等が1箇所にもまとめて記載されているとは限らず、読み落とす可能性があり、事故の元である。
- 指定校推薦の条件表記について、統一されていないので作業が煩雑になっている。ぜひ統一してほしい。
- 「推薦書」の様式が指定校のものなのか、公募制のものなのか、区別が付かない場合があり、間違っって違う方の様式で出願してしまう危険性がある。
- 大学・短大の学校推薦について名称の統一と推薦要項(条件)の書式の統一が急務と思われる。名称については、学校長推薦と指定校推薦はどう違うのか、自己推薦と総合型選抜とどう違うの等の質問が生徒から多数ある。受験生が混乱している。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<情報過多>

- 数年来、紙媒体に限らず、電子媒体も含めて情報過多になっており、処理しきれない。
- 情報がネットと紙の両方でくる。一本化してほしい。今年は訂正なども頻繁にくるので、困っている。
- 適切な情報を生徒・保護者に提供するために、大量な情報を取捨選択する必要がある。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<情報不足>

- 外部データがないため、生徒個々の能力がわかりづらい。
- 例年進学を目指す生徒は少ないため、ニーズがあった際には手続きや段取りに関して情報をいただきたい。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<業務過多>

- 公募制推薦や総合型選抜の回数が多く煩雑。一校での実施回数を制限してほしい。
- 指定校推薦に係る業務が非常に神経を使い大変 大学によって、いろんなことが違っていて対応に苦勞する。
- 進路希望が受験方法も含めて、多岐にわたりすぎて指導しにくい。
- 推薦・AOを希望する生徒の割合が大きくなり、小論文指導や作文指導、志望動機の指導に時間がかかり、指導する教員の人手が不足している。
- 来客対応に時間が割かれ、多忙を極めている。就職に対応する人員の配置をしてほしい。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<経済的な問題>

- 保護者が入学金や授業料等の学費を準備できてないことがある。
- 学費の高さへの不満を訴える生徒・保護者が多い。
- 進学費用に関して保護者の同意を得ることができずに、進路先の決定が遅れる生徒がいる。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

＜生徒の生活習慣・基礎学力・学業への態度・進路意識＞

- 出席することに対する意識が低い生徒が多い。
- 基礎学力(漢字の読み書き、基本的な計算、一般常識)不足による指導負担増。
- いかに高い志望を維持させるか。諦めずに、きちんと学業に取り組む姿勢を貫く指導。
- 生徒が要項をきちんと把握できていない。期日通りの行動ができていない。
- 生徒自身の意思決定の弱さ
- 教員側が思っているより、生徒たちは自分の進みたい道について調べていない。
周囲に言われたことをそのまま受け止めて、そこで留まっている。
- 志望校を決めるための情報収集がなかなか進んでいない。
- 2年次末までに具体的な進路を生徒に考えさせることの必要性。
- 進路を考え始めるのが遅く、自分の意見を文章にまとめる力が年々弱くなってきている中、個別指導をするにも教員の手が足りない状況である。
- 進路先未定のまま卒業していく生徒が多い。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<保護者に関して>

- 保護者の中には、子どもの進路に関して無関心である方もいる。
- 保護者との連携がうまく取れずに、生徒のなかには、やや動き出すまで時間がかかる者がいる。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<受験指導／勉強指導>

- 安全志向が強い。
- 推薦希望者が多く、早期に進路が決まること。
- 学力を伸ばして、一般受験に挑む生徒が少ないこと。
- 実力がありながら、学校推薦型選抜(指定校)に流れる生徒が増えている。
- 指定校推薦への依存度が高く、評定を上げるようにする生徒は多いが、一般受験まで見通した学習活動が難しい。最後までモチベーションを持ち続けさせるには、どうしたらよいかという難しさ。
- 大学進学への目標の不明確、「行きたい学校」より「行ける学校」を選択する傾向があること。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<生徒の安易な進路選択>

- 1年次より体験的な学習を通して、主体的な進路決定ができるように指導してきているが、3年次になり安易な方法で進路を決定している生徒が少なくない。
- 生徒のキャリア観が名前のある職種に偏っており、進学した後のことをイメージできていないケースが多いように思う。
- 大学進学への目標の不明確、「行きたい学校」より「行ける学校」を選択する傾向がある。

進学指導をするにあたって、日ごろ感じている問題点がありましたらお書きください。

<進路先で進路変更>

- 経済的な余裕がなく、明確な学習目的もないにも関わらず、学卒という学歴欲しさや、働きたくないという考えで進学するものが多く、進学先でリタイアする者が多い。
- 進路先での本人とのミスマッチ。

<進路先未定>

- 進路先未定のまま卒業していく生徒が多い。

本調査で取り上げて
欲しいテーマ

64 本調査で取り上げて欲しいテーマ

本アンケートで取り上げて欲しい課題等がありましたらお書きください。

<コロナ禍での進路指導>

- コロナ禍で各学校で進路指導について、工夫したことなどの報告

<オンライン面接>

- オンライン面接の実施状況
(練習の仕方や、教員の関わりの範囲などについて)

<キャリアパスポート>

- キャリアパスポートの運用の方法について

65 本調査で取り上げて欲しいテーマ

本アンケートで取り上げて欲しい課題等がありましたらお書きください。

<模擬面接>

- 模擬面接の事前指導の方法

<WEB出願>

- WEB出願に対する指導の在り方

<指定校・AOの複数出願のルール>

- 公募推薦やAOの複数出願のルールについて

<学校推薦型選抜>

- 学校推薦型入試における不合格者についてのアンケート
- 指定校推薦のあり方

本調査で取り上げて欲しいテーマ

本アンケートで取り上げて欲しい課題等がありましたらお書きください。

<総合的な探究の時間>

- 総合的な探求の時間の取り組み

<インクルーシブ>

- インクルーシブ教育実践推進校におけるの課題の現状
- 特別支援学校からの大学進学の実例について

<お金に関して>

- 校内模試代金の徴収方法
- 進学費用の準備をどのようにするか

アンケートへのご協力をありがとうございました。